



盛岡市プレスリリース

～世界から盛岡ファンを引き寄せる東北の観光交流都市～

令和4年1月24日
交流推進部観光課

市政記者クラブ加盟社 各位

もりおか啄木・賢治青春館事業について

このことについて、もりおか啄木・賢治青春館から別添のとおり開催情報がありましたので、告知宣伝等について御協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 もりおか啄木・賢治青春館第93回企画展
「書作 佐藤紫雲展」－失いし者の詩，石川啄木－
【日 時】令和4年1月28日(金)～4月10日(日)
午前10時～午後5時
【場 所】もりおか啄木・賢治青春館 2階 展示ホール
【入場料】無料

【問い合わせ】

もりおか啄木・賢治青春館指定管理者
公益財団法人盛岡観光コンベンション協会
企画総務グループ 堀口・菊池
電話：019-621-8800

盛岡市交流推進部観光課
観光企画担当 畠山 健 内線 3722

もりおか啄木・賢治青春館 第93回企画展

— 失いし者の詩、石川啄木 —
書作 佐藤紫雲展

令和4年

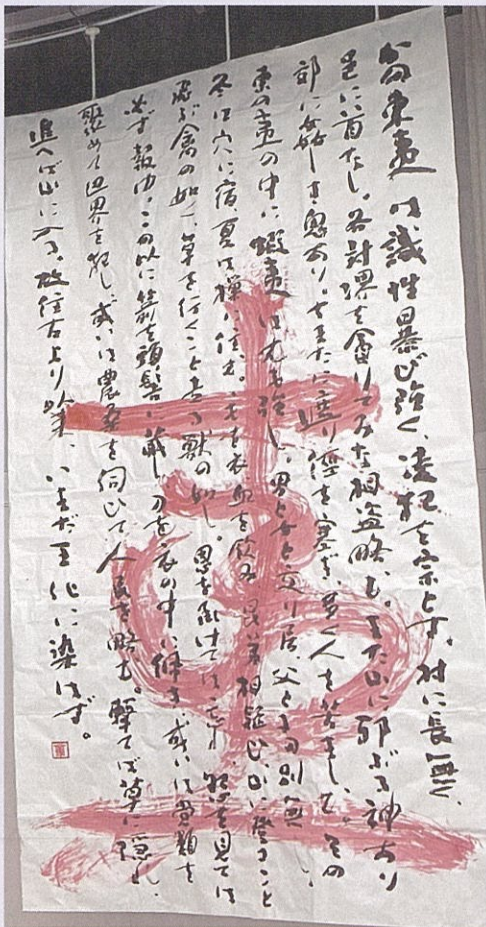
1月28日(金)～4月10日(日)

午前 10 時～午後 5 時 *第2火曜日休館

もりおか啄木・賢治青春館

2階展示ホール

観覧無料



「夷」(日本書紀 巻第七「景行天皇」より) 480×240 2020年

石川啄木という詩人は、明治という時代を疾走した。
 遠い夢の実現を求め、ひたむきに生きた。
 立ちほだかった、思うに任せぬ貧困と病苦、虚栄と絶望の軋みが深い分、
 空に架かる追憶の虹は殊の外、美しく、私を惹きつけてやまない。
 混沌の傷口を晒し、夢げに浮かぶ啄木の行方を、私は書をもって「青春館」
 に立ち上がらせたいと切に願った。
 その願いの前には、仲間内にしか通じない書の決め事も、使い慣れた書
 の技も、こともなく魅力を失った。
 であれば、啄木に学び、未来を信じ、勇気を奮って新しい創造の困難に
 踏み出すしか術はなかった。

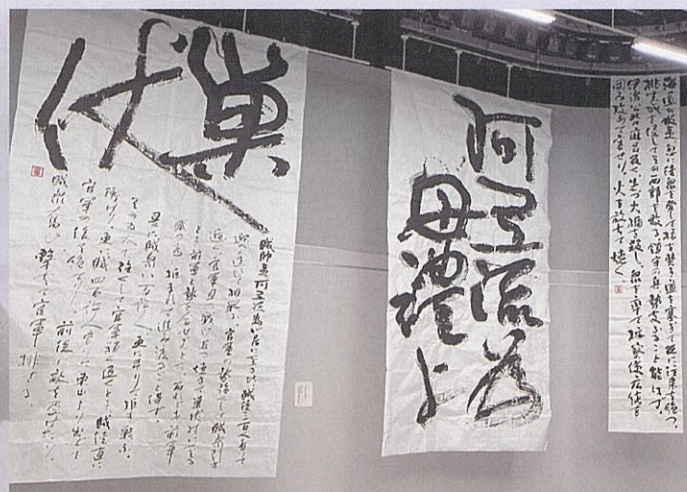
佐藤 紫雲



「王権守護北方凶賊討伐」 160×700 2021年

佐藤 紫雲 (さとうしうん)

- 1954(昭和29年)水沢市に生まれる
- 1973(昭和48年)県立水沢高等学校卒業
大東文化大学文学部中国文学科入学
- 1975(昭和50年)東京書道会展公募部門最高賞
- 1977(昭和52年)大東文化大学卒業
私立岩手高等学校勤務
- 1978(昭和53年)第5回岩手の書道選抜百人展奨励賞(以後2回受賞)
- 1981(昭和56年)私立岩手女子高等学校勤務
- 1990(平成2年)第1回鼎の会書作三人展(川徳、以後多数)
- 1991(平成3年)親子二人展(メイブル・水沢)
- 1995(平成7年)個展(川徳)
- 1998(平成10年)書とあかり二人展(川徳cube11)
- 2002(平成14年)書作二人展(鬼の館・北上)
- 2003(平成15年)書作二人展(ピノキオの里・一閑)
書作二人展(めんこい美術館・水沢)
書作二人展(一ノ倉邸・盛岡)
- 2010(平成22年)岩手女子高等学校校長就任
岩手女子高等学校書道パフォーマンス指導開始
- 2018(平成30年)岩手女子高等学校退職
- 2019(平成31年)書小品展(もりおか町家物語館DOMA)
- 2020(令和2年)「佐藤紫雲書作展-蝦夷の長阿豆流為」(めんこい美術館・水沢)
書小品二人展(もりおか町家物語館DOMA)
- 2021(令和3年)「佐藤紫雲書作展-奥六郡主安倍氏」(めんこい美術館・水沢)



2020年 めんこい美術館 「佐藤紫雲書作展-蝦夷の長阿豆流為」



もりおか啄木・賢治青春館

盛岡市中ノ橋通一丁目1-25 TEL/FAX (019)604-8900

<https://www.odette.or.jp/seishunkan/>

E-mail:seishunkan@odette.or.jp